

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	1-	5	
会計	款	項	目
一般	2	1	1
課名	総務課		
係名	総務管財係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員町	目的 (対象がどのような状態になっているか)	公用車の適正な維持・管理、高効率の稼動を図り、環境負荷への軽減・事故防止に努め、円滑な業務を遂行することができる。
事業内容				総務課における集中管理の公用車9台(所管課による用途限定の公用車は評価外とする)は、庁内パソコンでの事前予約を受け、効率良く配車を行い、必要最小限の保有台数での業務遂行に努める。また、更新対象となる車両の一時的な経費の負担増を平準化するとともに、車両管理業務の省力化を図るため、引き続きリースによる車両の導入を行う。

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						

		令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)
全体事業費 (千円)		3,926	3,779	4,023
財源 内訳	うち一般財源	3,926	3,779	4,023

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町閥との必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	太陽光発電、蓄電池の導入を検討し、電気自動車の導入を検討する。	③取組の課題	電気自動車の運用における課題の把握及び適正台数の把握。
②R6年度に実施した取り組み	総務課管理の公用車の内、電気自動車1台の導入を行った。	④今後の改善計画	電気自動車の運用を促進することにより、課題を把握し、今後の運用、導入を検討する。また企業版ふるさと納税による寄附も検討を行う。